

2014 年 2 月 5 日

横手市教育委員会

教育長 伊藤 孝俊 様

新日本婦人の会横手支部

支部長 高階 泰子

卒業式・入学式などで「日の丸・君が代」を強制しないことを求めます

新日本婦人の会は、女性の要求実現と子供の幸せのために全国で運動している女性団体です。2003 年 5 月には国連 N G O に認証され、世界の女性との連帯をひろげています。

私たち親にとっては、子供の成長はかけがいのない喜びです。とくに卒業式・入学式はその節目となる大切な行事であり、子供たちの巣立ちにふさわしく、子供が主人公の式になるよう願っています。

ところが、こうした親や学校関係の願いに反して、毎年「日の丸・君が代」をめぐる強制と混乱がもちこまれていることは非常に残念です。とくに「日の丸・君が代」を国旗・国歌とする法律が 1999 年に成立して以来「強制を伴うものではない」という法律制定時の政府説明に反する締めつけが強まっています。さらに教育制度基本法のもとで改訂された学習指導要領では、「君が代」を「歌えるように指導」など「異例の修正」がおこなわれ、すべての教科で道徳の教材を盛り込むよう「愛国心」が押しつけられています。さらに安倍政権は道徳の教科化で、国の規制を強め、国家主義的な道徳教育のいっそうの徹底をはかろうとしていることに、私たち親は大変危惧しています。

新日本婦人の会は、「日の丸・君が代」についてさまざまな意見があることから、「学校行事には強制しないでください」と自分の子供が通う学校や教育委員会に申し入れ続けてきました。教育基本法にも「教育は不当な支配に屈することなく」と明記されています。子供の成長発達を願う、学校現場に、首長や行政による教育への介入は極めてふさわしくないものです。卒業式、入学式での「日の丸・君が代」について、慎重なご配慮を、いただきますよう、次の点を重ねてお願い申し上げます。

記

- 1、卒業式・入学式は、子どもを主人公にした行事にしてください
- 1、子どもと教職員の内心の自由を守り、「日の丸・君が代」の強制をしないでください